

	事業名	連携・協働の内容	実施時期	区分	所管課	学生の参加状況	学生の意見等
1	うるしの里活性化推進事業（河和田アートキャンプ）	県内外の学生をうるしの里河和田地区に受け入れ、学生の持つ知性・感性・創造性を有効活用しながら、河和田地区内の豊かな地域資源である「越前漆器産業」や「眼鏡産業」などの地場産業をはじめ、田園や里山などの自然環境を活用した地域づくりを創造する。	通年	非公募	商工政策課 まちなか賑わい・観光グループ	京都精華大学 86人 成安造形大学 2人 京都市立芸術大学 6人 沖縄県立芸大 2人 大阪芸術大学 1人 大阪人間科学大学 1人 京都嵯峨芸術大学 1人 Rietveld Academy（オランダ） 2人	参加している学生からは、本事業を通して得られた貴重な経験に対する感謝が寄せられており、リピーターとして来年も参加したいなどの意欲的な意見が聞かれる。
2	日中外国語大学と地域住民との「絆」交流促進事業	北京外国語大学を中心とした中国人学生15人と東京外国語大学を中心とした15人の大学生計30人を対象として、活動研究テーマを設定し、地域住民との膝を交えた交流を図りながら、調査研究を行い、報告書を作成する。 ※日中交流学生団体「京英会」が主催する「日中相互訪問プロジェクト2014」における地方見学として実施する。	8月17日（日）～21日（木）	非公募	市民協働課 地域自治・市民活動グループ 53-2215	<京英会> 北京外大等15人 東京外大等15人 <事業受託側> 学生団体with 福井大学等10人	・事前に連絡を取り合っていたこともあり、鯖江の学生に会うのが楽しみでしかたなかった。 ・地元の学生がホストとして受け入れてくれたことに感激した。
3	児童センター活動事業	市内児童センターにおいて、創作児童劇の公演をした後、児童に遊び等の指導をしていただく。	年2回	非公募	児童福祉課 母子児童グループ 53-2224	8/22 北中山児童センター 福井大学生 15名 （福井大学児童文化研究会）	劇の中に遊びを取り入れ、劇を楽しみながら、遊べるよう創作した。長時間でも子どもたちが楽しむことができるよう、今後も内容を工夫したい。 劇や集団での遊びを通して、子どもたちにはみんなつながっていると感じてもらえるよう、今後もこの活動に取り組んでいきたい。
4	スポーツ交流事業	一流アスリートや鯖江出身で全国で活躍している選手を招聘してスポーツ教室を開催し、スポーツ振興による青少年の健全育成及び地域の活性化を図る。今年度は鯖江出身で早稲田大学庭球部の林 恵里奈選手をはじめ、早稲田大学庭球部の土橋 登志久監督、同部で林選手のダブルスパートナーである梶谷 桜舞選手を招聘し、幼児から小中学生を中心に大人までを対象としたテニス教室を行う。開催は、（一社）鯖江市体育協会の自主事業と共同で行う。	平成26年4月13日（日）	非公募	スポーツ課 スポーツグループ 53-2260	早稲田大学テニス部学生 2名 早稲田大学テニス部監督 1名	小さい子どもから小中学生、高校生また大人まで幅広い年齢層との交流があり、大変楽しかったとのことであった。
5	鯖江つつじマラソン	円滑な大会運営と地域ぐるみの大会を目指し、競技役員として参加いただく。	平成26年5月11日（日）	非公募	スポーツ課 スポーツグループ 53-2260	丹南高校22名	日赤奉仕団の方々と一緒に活動を行ったため、戸惑いもなく、楽しい活動となった。今後も協力していきたいとのことであった。
6	鯖江市スポーツ少年団リーダーズスクール	各単位団のリーダーを育成するために、企画段階から協力いただき、開催当日は指導者として参加いただく。	平成26年7月31日（木）～8月1日（金）	非公募	スポーツ課 スポーツグループ 53-2260	福井大学生約15名	参加児童6班47名に対し、1班あたり2～3名の大学生で担当した。参加児童達からは、大変楽しく貴重な時間を過ごせたとの意見をもらっており、指導する立場である大学生にとっても大変有意義な活動であった。
7	さばえ環境フェア	「さばえ環境フェア2014」の環境団体等ブースの企画、運営に参加して、環境市民の育成を推進する。	平成26年6月	非公募	環境課 環境グループ 52-0050	福井高専6名、京都精華大学4名	多くの来場者があったのでやりがいのあるお店になったし、また、多種多様な出展団体があったのでその活動が自分たちの活動の参考になった。
8	こどもエコクラブ活動交流会	「こどもエコクラブ活動交流会」の運営にボランティアスタッフとして参加して、環境市民の育成を推進する。	平成27年2月	非公募	環境課 環境グループ 53-2228	福井高専1名、鯖江高校4名	アンケート結果によると、楽しかった、来年も参加したい、こどものイベントにもっと参加したい、環境について興味を持ったとのことであった。
9	公民館合宿通学事業	地域の大人たちとの交流の中で、コミュニケーション能力や家庭における基本的な生活習慣を身につけるため、小学校4年生以上の児童が地区公民館で宿泊しながら通学する事業にボランティアとして参加していただく。	5月～10月	非公募	生涯学習課 生涯学習グループ 53-2255	なし	なし

	事業名	連携・協働の内容	実施時期	区分	所管課	学生の参加状況	学生の意見等
10	農のある生活応援実践事業	県内外、学生社会人を問わず若い人達等が中山間地に集い、週末や休暇を利用して休耕田で、楽しみながら農業に親しみ、農産物を使った食事懇談や、創作料理、菓子などへの活用、朝市などでの販売活動、地域交流等を企画実施し、食と農や地域への理解を深めることにより、農作物の地産地消と耕作放棄農地の減少、地域間交流を推進し、地域の活性化を図る。	通年	公募	農林政策課 農林特産振興特産グループ 53-2232	学生が夏休みを迎える7・8・9月で鯖江市に滞在した。京都精華大学、京都大学、中京大学、早稲田大学、東京芸術大学、東京環境工科専門学校、龍谷大学、京都造形芸術大学、京都女子大学、立命館大学、東京大学、愛知教育大学（12校）113人、延べ375人が活動	参加者に滞り後実施しているアンケート結果より抜粋すると、作業内容についてはおおむね「ちょうどよい」、受け入れ対応・諸条件についてはおおむね「満足orやや満足」という回答が得られた。滞在地域との今後の関わり方について「ボランティアや旅行でまた訪れたい」との回答が多く、「機会があれば訪れるかもしれない」「地域の商品を購入したい」など、何らかの関わりを持ちたいとの回答が得られた。
11	さばえブランド特産物販売戦略推進事業	1 本市にゆかりのある若者たちに本市のブランド野菜や農工商連携商品を全国にPRしてもらい、販路拡大につなげる。 2 鯖江産野菜等の食材について、ブログやツイッターに食感や味などの感想を載せてもらい、情報交換の中で、口コミでの広がりを誘発する。 3 大学学園祭等のイベントで、学生の協力により鯖江の食材を販売PRし、農産物の販路拡大につなげる。	通年	非公募	農林政策課 農林特産振興特産グループ 53-2232	②③8月のご縁市への出店に向けて、学生団体と市内の若者が連携した「WithPlus」として吉川ナスパーカー・トマトそうめんを提供した。 ごども向けのイベント等を企画するなどして広報に努めている。	『SABAEベジcafe』として、8月のご縁市に出店することができ、鯖江の地場野菜を使った創作料理を販売した。アロハのお揃いの衣装で、メンバー同気合い十分で楽しみながら活動できた。 形が不揃いという理由で、価格が下がってしまった地場産野菜を使うことで販売価格を安くすることができ、多くの方にPRできたと思う。
12	誠市	中心市街地の活性化を目的に開催される誠市への集客力アップと街なかの賑わいを創出するため、企画・運営に参加していただく。	毎月1回（4月～12月、3月の第2日曜日6:00～14:00まで）	非公募	商工政策課 まちなか賑わい・観光グループ	仁愛大学から月1回の誠市実行委員会に1～2名ずつ出席し、ごども向けのイベント等を企画。イベント当日にはそれぞれ、5名前後が参加。	様々な世代の方とふれ合える貴重な機会となった。自分たちの企画の反省点を改善し、次の事業内容を検討することができいい経験となった。
13	鯖江市地域活性化プランコンテスト	鯖江市地域活性化プランコンテスト実行委員会にスタッフとして参加していただく。	9月	公募	商工政策課 まちなか賑わい・観光グループ	運営 福井県立大学 10 仁愛大学 1 福井大学 6 福井高専 4 合計 21名 参加者 中央大学 1 早稲田大学 2 早稲田大学院 1 日本大学 1 慶應義塾大学 2 静岡大学 1 京都大学 3 京都大学院 3 北海道大学院 1 東京大学 3	運営の大部分を任せていただいたことにより、コンテストの成功が自信につながり、自己の成長につながったと感じています。
14	大学と連携した漫画デザイン活用による創造力向上事業	市内の高校生（丹南高校・鯖江高校）が京都精華大学に出向き、京都精華大学の漫画学科の教員等の指導を受けながら、「鯖江」をイメージする「眼鏡・繊維・漆器の地場産業」や「西山公園などの観光資源」や「人」などの地域資源をコンセプトとした漫画を制作する実践的な授業を受けることで、高校生の持つ感性を磨き創造力の向上に努めるとともに鯖江に対する理解の増進を図る。また、制作した漫画は冊子としてまとめるとともに、優秀な作品については、鯖江市長賞、商工会議所会頭賞、京都精華大学学長賞として顕彰し、平成27年1月15日のふるさと鯖江の日に表彰式を行う。さらに、優秀作品については、市のホームページやものづくり博覧会などのイベント等で紹介することで、地場産業等のPRの素材として活用を図る。	H26年9月～H27年1月	非公募	商工政策課 商工労政グループ	丹南高校 総合学科 11名 鯖江高校 美術部 9名	アンケートの結果、ほぼ全員が、「非常に有意義であった、来年も参加したい」と答えた。また、実際に大学のオープンキャンパスを訪れた感想を、「時間が足らず残念だった、もっとゆっくりワークショップに参加したり、校内を見て回りたい」とした人が多かった。
15	ライフパートナー事業	教員を目指す学生とともに、不登校児のケア、学校への復帰の支援を行う。	通年	非公募	学校教育課 学校教育グループ 53-2253	福井大学生10人(男性8人・女性2名)が登録し活動している。	ライフパートナーの活動で得た経験を活かしているようこれから勉強などをがんばっていきたい。子どもとのいろいろな関わり方を見ることができて、いい機会だと思いました。 ライフパートナーの活動で、子どもの気持ちを一番に考えることが大事だということを学びました。

	事業名	連携・協働の内容	実施時期	区分	所管課	学生の参加状況	学生の意見等
16	明治大学との連携事業 鯖江ブランド創造プロジェクト	「鯖江市の強みと地域が抱える課題」を学生が取材し、そこから学生たちが鯖江市に対してどんな価値を提供できるか<＝「鯖江ブランドの創造」>を考え、提言する。	8月	非公募	秘書企画課 秘書企画グループ 53-2263	6月28日・29日に市内で事前研修を行い、8月25日（月）～8月28日（木）の4日間、12名の学生が3グループに分かれて鯖江市でフィールドワークを実施。また、10月19日（日）に明治大学で成果発表を行った。	行政のみならず、地元住民のみならずのあたたかな受け入れに感動しました。ありがとうございました。
17	金沢大学 まちづくりインターンシップ	まちづくり団体等インターンシップを行い、市および団体にまちづくり提案を行う。	9月	非公募	秘書企画課 秘書企画グループ 53-2263	金沢大学地域創造学類地域プランニングコース2年生4名が、9月8日～9月18日の11日間、鯖江市でまちづくりインターンシップを行った。	授業でお世話になった関係各方面の方々、鯖江市民の方に御礼申し上げます。特に、金沢大学学生との調整に奔走していただいた秘書企画課の八田様には厚く御礼申し上げます。今後とも、鯖江市政の発展の為に協力させていただきたいと思っております。
18	学生活動拠点（らてんぼ）活性化事業	「鯖江街なか賑わいプラン」推進の一環として、中心市街地の商店や住民と交流を図りながらイベントを開催するなど、街なかの賑わいに繋がる事業を展開していただく。	通年	非公募	商工政策課 まちなか賑わい・観光グループ	学生団体withの活動拠点として活用。 学生団体withを含め、延べ673名参加。	会議の場としてらてんぼを利用しており、街なかで自由に使える施設ということで大変重宝している。こども商店街aKind'sなどのイベントを通して街なかの商店の方たちとふれあう機会もあり、鯖江のこのことを知ることができた。
19	鯖江市の魅力発信	鯖江市を紹介するために制作したフリーペーパーやホームページ、市内の風景やイベントなどを撮影した写真や映像の提供してもらい、鯖江市の公式ホームページなどで紹介・公開する。	通年	公募	情報広報課 情報広報グループ 53-2203	【学生写真館】 丹南高校 9人54枚 丹生高校 9人10枚 【さばえCM大賞】 福井高専 1人1作品 星槎国際高等学校 2人2作品 仁愛女子短期大学 1人1作品 大原テクノデザインアート専門学校 3人2作品 藤嶋高校 1人4作品	【学生写真館】 市HPのトップページに掲載され、3年生にとっては卒業の記念になるとともに、たくさんの人に見てもらえるということでモチベーションが上がり、よりよい作品づくりにつながる。 【さばえCM大賞】 市のチャンネルを通して製作した動画を多くの人に見てもらえるチャンス。これからも市の魅力発信に貢献したい。
20	丹南高校連携地場産業後継者育成事業	丹南高校の特徴（地域総合学科）を活かした事業を展開することで、地場産業への関心を高めるとともに就業機会の向上を図る。	7月～11月	非公募	商工政策課 商工労政グループ	1年生140人<鯖江市の産業紹介> 2年生35人<河和田の工房見学> 3年生51人<デザイナーによる授業>	鯖江の地場産業が眼鏡だけでなく、織維や漆器もあり、それぞれすごい技術力を有している産地であるということが分かり、地元に誇りを持たれた。などの意見があった。

※ 非公募事業とは、すでに個別に交渉を行って進めている事業などで、相手方が特定されている事業のことで、項目の仕分けは、主たるものに分類しています。